ファイバセンサアダプタ取扱説明書　Rev.86

1. 概要

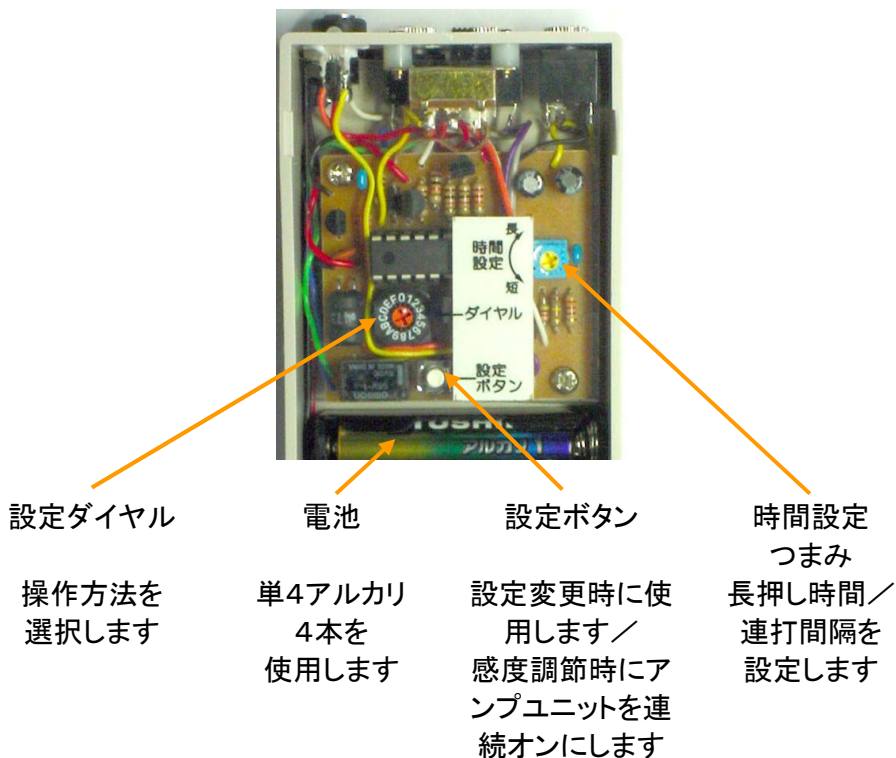
- ファイバセンサアダプタはファイバセンサを乾電池で動作させる装置です。
- 信号の出力先を「パソコン」と「コール」間で切り替えることができます。
- 出力先切り替えはスイッチをオンにしたままにする操作（長押し）または短い間隔で繰り返しオン／オフを行う操作（連打）により行います。
- ブザーを内蔵しており、呼び出しや合図に使用できます。
- 電池でも AC アダプタでも動作します。

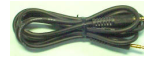
2. 各部の名称

パネル

ファイバセンサジャック	パソコンジャック	電源スイッチ	コールジャック	ACアダプタジャック	表示ランプ
ファイバセンサアンプユニットを接続します	パソコンの入力補助装置と接続します	電源を入／切します	ナースコールに接続します	AC アダプタを接続します	動作状態を表示します

内部

設定ダイヤル	電池	設定ボタン	時間設定つまみ
操作方法を選択します	単4アルカリ4本を使用します	設定変更時に使用します／感度調節時にアンプユニットを連続オンにします	長押し時間／連打間隔を設定します

付属品

ACアダプタ
電源を供給します

２本

接続コード
ナースコール／
パソコンと
接続します

３．準備

- ファイバセンサアンプユニットのコードをアダプタの「ファイバセンサ」ジャックに接続します。
- パソコンと接続する場合、3.5mm ミニプラグの付いたコードで「パソコン」ジャックとパソコン入力装置間をつなぎます。
- ナースコールと接続する場合、3.5mm ミニプラグの付いたコードで「コール」ジャックとナースコール間をつなぎます。
- ケースのふたにある溝にドライバーや硬貨をさし込み、よじってケースを開け単４アルカリ電池４本を入れてください。
- 付属のACアダプタを「ACアダプタ」ジャックに接続してください。

４．使い方１ ［長押し操作］

- ファイバセンサをオンにすると「ピー」と電子音がして、ランプが緑に点灯します。
- ファイバセンサがオンの間「パソコン」出力がオンになります。
- ファイバセンサをオフにすると電子音は止まり、ランプが消えて「パソコン」出力はオフになります。
- ファイバセンサを２秒間オンにしたままにすると、ランプが赤に変わり、ブザーが「ピピピピ」と鳴ります。
- 一旦ブザーが鳴り出したらセンサをオフにしても５秒間鳴り続けます。その間「コール」出力はオンになり、「パソコン」出力はオフになります。
- ５秒経過するとランプが橙に変わりブザーが止まって「コール」出力はオフになります。
- ランプが橙の時にもう一度ファイバセンサをオンにすると、すぐにランプが赤に変わり、ブザーが鳴って「コール」出力がオンになります。
- ランプが橙の状態でファイバセンサをオンにせず４秒経つと「ピッ」と動作音がしてランプが消え、はじめの状態に戻ります。

５．使い方２ ［連打操作］

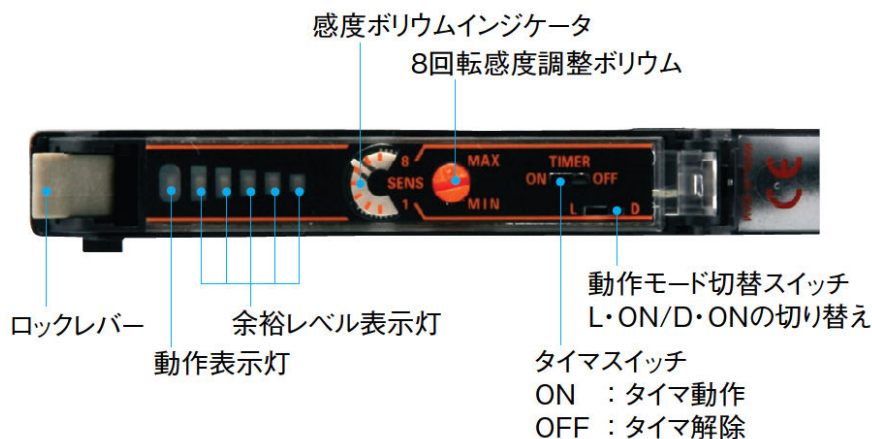
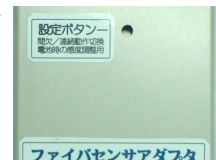
- ファイバセンサをオンにすると「ピー」と電子音がして、ランプが緑に点灯します。
- ファイバセンサがオンの間「パソコン」出力がオンになります。
- ファイバセンサをオフにすると電子音は止まり、「パソコン」出力はオフになりますがランプは緑で点灯し続けます。
- ランプが緑の状態でファイバセンサをオンにせず設定した時間が経つと「ピッ」と動作

音がしてランプが消え、はじめの状態に戻ります。

- ランプが緑で点灯している間に再びファイバセンサをオンにすると再び電子音がして「パソコン」出力がオンになります。これを5回繰り返すと、ランプが赤に変わり、ブザーが「ピピピピ」と鳴って「コール」出力がオンになります。
- 一旦ブザーが鳴り出したらセンサをオフにしても5秒間鳴り続けます。その間「コール」出力はオンになり、「パソコン」出力はオフになります。
- 5秒経過するとランプが橙に変わりブザーが止まって「コール」出力はオフになります。
- ランプが橙の時にもう一度ファイバセンサをオンにすると、すぐにランプが赤に変わり、ブザーが鳴って「コール」出力がオンになります。
- ランプが橙の状態でファイバセンサをオンにせず4秒経つと「ピッ」と動作音がしてランプが消え、はじめの状態に戻ります。

6. 感度調整

- 電池（節電）動作時アンプユニットの表示は点滅表示となります。また、オン／オフの反応が若干遅れます。調節しにくいときは設定ボタンを押して表示を連続点灯させてください。あるいはAC アダプタを接続してください。

- 設定ボタンを押してアンプユニットの表示を連続点灯させた場合は設定終了後もう一度設定ボタンを押して表示を消してください。あるいは電源スイッチを入れ直してください。（この操作を行わないと電池が早く無くなります）
- 調整方法

① レベル表示灯に入力光量レベルが表示されます。

② ファイバユニット先端を操作する部位（指、頬など）に近づけ、これくらいでオンにしたいという位置にします。

③ 感度調整ボリウムを回し動作表示灯が点灯するよう調整します。

④ 動作モード切替スイッチを「D」にすると入力光量が大きいときオン、小さいときオフとなります。

⑤ タイマスイッチは「OFF」で使用します。

7. 設定

- 時間設定

  センサの長押しでコールを行う場合センサをオンにし続ける時間を設定します。
  センサの連打でコールを行う場合センサを操作する間隔を設定します。
  「時間設定」つまみを時計方向に回すと時間が長くなります。(最大約12秒)
  [出荷時設定:約4秒]

- ナースコール操作

  コール無し、センサを長押ししたときにコール、センサを連打したときにコールの3つから選択します。選択は「ダイヤル」つまみで行います。選択を変えるときは一旦電源を切ってください。[出荷時設定:長押し(ダイヤル1)]

  ① コールなし[ダイヤル0] —— コールは動作しません。パソコンのみ操作します。
  ② 長押し[ダイヤル1] —— ファイバセンサを設定した時間以上オンにしたままにするとコールがオンになります。時間は時間設定つまみで設定します。時間設定をゼロ(左に回しきる)にするとセンサオンですぐコールがオンになるようにできます。
  ③ 連打[ダイヤル2～7] —— ファイバセンサを設定した時間以上間隔を開けず設定回連続してオンオフを繰り返す(連打する)とコールがオンになります。間隔は時間設定つまみで設定します。回数は2から7回をダイヤルで選択し、2の時2回、7の時7回でコールがオンになります。
  たとえば4回の場合2回目と3回目の間隔が設定時間より長かった場合、その時点で回数はご破算となり、もう4回操作が必要になります。

- 動作設定

  ブザー音などの動作を設定します。設定は以下の手順で行います。

  1. 電源を切ります。
  2. ダイヤルを変更したい項目の番号に合わせます。
  3. 電源を入れます。
  4. 設定ボタンを押すと設定値と同じ回数1から4回ブザーが鳴ります。設定ボタンを押すたび設定値が変わり、ブザーが鳴る回数も変わります。
  5. 希望の設定値になるよう設定ボタンを何回か押します。
  6. ダイヤルをもとの数字(0から7)に戻します。(電源を切らずに操作します)
  7. 設定ボタンを押します。これで設定内容は保存されます。設定ボタンを押さず電源を切れば設定は変更されません。

① 操作音 ［ダイヤル8］―― ファイバセンサをオンにしたときのブザーの鳴り方を選択します。［出荷時設定：1］

設定値（ブザーが鳴る回数）	ブザーの鳴り方	備考
1	鳴らない	
2	センサオンの瞬間とオフの瞬間	カチッ
3	センサオンの瞬間とオフの瞬間	ピッ
4	センサがオンの間	ピー

② コール時の音［ダイヤル9］―― ナースコールがオンのときのブザーの鳴り方を選択します。［出荷時設定：4］

設定値（ブザーが鳴る回数）	ブザーの鳴り方	備考
1	鳴らない	
2	操作音と同じ音量	ピピピ
3	鳴らない	1と同じ
4	操作音より大きな音	ピピピ

③ 時間経過時の音［ダイヤルA］―― ナースコールがオフになった直後一定時間はセンサオンですぐナースコールがオンになります。この時間が終了した時点でブザーを鳴らすかどうか選択します。連打の場合は連打として認識される時間が終了した時点でブザーを鳴らすかどうかも同時に設定されます。［出荷時設定：1］

設定値（ブザーが鳴る回数）	ブザーの鳴り方	備考
1	鳴らない	
2	時間経過時鳴る	

④ 出力方式 ［ダイヤルB］

コールの出力時間をファイバセンサオンの間出力し続けるかセンサオンの時間にかかわらず一定時間出力するか選択します。一定時間出力する場合出力時間は1秒と5秒から選択します。［出荷時設定：3］

設定値（ブザーが鳴る回数）	コール出力	出力オフ後	備考
1	押している間オン	すぐ待機状態に戻る	
2	1秒間オン	一定時間再オンを待つ	ワンショット
3	押している間オン		
4	5秒間オン		ワンショット

⑤　節電 ［ダイヤルC］

電池動作時の節電（電池消費軽減）の度合いを選択します。「大」にすると電池が長持ちしますが反応が遅く感じる場合があります。「小」にすると反応が速くなりますが電池がはやくなくなります。「なし」にすると節電は行われません。［出荷時設定：1］

ACアダプタで動作している時は設定値にかかわらず常時連続動作となります。

設定値（ブザーが鳴る回数）	節電の度合い	備考
1	大	通常 0.4秒間隔で動作、20秒操作がないと0.8秒間隔に変わる（ナースコール中心）
2	中	常時0.4秒間隔で動作
3	小	通常連続動作、20秒操作がないと 0.4秒間隔に変わる（パソコン操作中心）
4	なし	常時連続動作

8. 電池切れ警告

- 電池の残量が少なくなるとセンサを操作していないときランプが赤く点滅します。
- 点滅をはじめてからも数時間は使用できますが早めに電池を交換してください。
- ACアダプタ使用時は電池の残量がなくても動作しますが電池切れ警告は行われます。
- 電池が装着されていない状態や電池が完全になくなった状態では電池切れ警告は行われません。

9. 注意

- 電池動作時、節電（間欠）動作中はファイバアンプユニットの動作表示は点滅動作します。
- ACアダプタを使用しても内蔵の電池は充電されません。
- ブザーは鳴っている状態が12秒以上続いた場合一旦停止します。（センサに物が触れるなどして誤動作している可能性があるため）
- ファイバセンサのオンが約16秒間続いた場合、以降入力を無視します。約4秒間オフが連続したとき通常状態に戻ります。
- 「コール」出力はリレー接点、無電圧、無極性で他と絶縁されています。接点定格はDC30V、1A です。定格内で使用してください。
- 「パソコン」出力はフォトモスリレー出力、無電圧、無極性で他と絶縁されています。接点定格は DC30V、0. 1A です。定格内で使用してください。